〔別紙10〕地質図

ボーリング柱状図

調　査　名　橋梁設計調査等委託業務（大山塚跨線橋詳細設計）

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ング名	No.1	調査位置	愛知県豊橋市花田地内（東海道線293k179m付近）	北緯	° ′ ″
機関	豊橋市道路建設課	調査期間	平成16年 1月13日～平成16年 1月14日	東経	° ′ ″
者名	中央復建コンサルタンツ株式会社 電　話 06-6160-3362	主任技師	小泉正司	現場代理人	熊本 清
				コア鑑定者	熊本 清
				ボーリング責任者	武田 剛治
標高	KBM 7.80m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
進長	14.33m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：カノー KR-SH　ハンマー落下用具：自動落下
					エンジン：ヤンマー NFAD10　ポンプ：KYC-400E

層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.80	1.80		砂礫	暗茶	非常に緩い		φ5～70mmの礫及びコンクリートガラ・レンガ片混入。砂粒子は細砂主体。			0.45	1	1	2	4/30	4							
										1.15	1	1/20		2/30	2							
										1.45												
										2.15	9	20	20	49/30	49							
										2.45						2.70						
2.00	3.80		砂礫	茶褐	密な		砂粒子は細砂主体。φ2～60mmの礫主体にて所々シルト分混入。			3.15	10	13	9	32/30	32	k-1	LLT					
										3.45						3.30						
									1/13	4.15	4	6	7	17/30	17							
									3.85	4.45												
							細砂主体にて所々φ2～25mmの礫を混入。含水小。			5.15	10	9	9	28/30	28							
			礫混り砂	黄褐	中くらい					5.45												
2.00	5.80									6.15	6	8	8	22/30	22							
										6.45												
										7.15	8	11	13	32/30	32							
										7.45												
							粒子均一な細砂主体。全体的に雲母片混入し部分的にφ10～25mmの亜円礫混入。含水小～中位。			8.15	11	14	16	41/30	41							
										8.45												
										9.15	15	20	24	59/30	59							
										9.45												
										10.15	21	33	6/1	60/21	86							1/13
										10.36												
										11.15	14	17	23	54/30	54							
										11.45												
										12.15	16	30	14/3	60/23	78							
										12.38												
7.55	13.35									13.15	15	18	20	53/30	53							
										13.45												
			砂	暗灰	非常に密な		粒子均一な細砂主体。含水小。			14.15	22	38/8		60/18	100							
0.98	14.33									14.33												1/14